

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立久留米中学校 第1学年

教科	学力に関する各調査に基づく生徒の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の定期考査の結果から、「思考・判断・表現」の問題も「知識・技能」の問題どちらも達成率が約50%であった。 ・「思考・判断・表現」においては、自分の考えを文にして記述する問題の無記入率が高く、「知識・技能」においては、漢字を書くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、自分の考えを文にする課題に取り組み、生徒の苦手意識をなくしていけるようにする。さらにその中でお互いに意見を交換し合い、さらに考えを深めていけるようにし、記述問題の無記入率を10%以下にする。 ・単元ごとに漢字テストを行い、日頃から漢字を書く練習をさせる。また、作文や文章課題などで漢字ではなく、ひらがなで書いている生徒には、その場で漢字で書けるように指導を行う。そうすることで定期考査での漢字問題の達成率を70%以上にする。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の定期考査の結果、「知識・技能」の達成率が65%、「思考・判断・表現」の達成率が45%であった。「知識・技能」については、特に文字式の計算に課題が見られた。「思考・判断・表現」の達成率が低い要因としては、学んだ知識を応用して問題解決すること、自分の解決方法や考え方を説明することに課題があることと分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最初にeライブラリを活用して前回の内容の確認テストを行い、生徒の学習状況や理解度を明確にしていく。計算の演習をする時間を授業内でも設け、知識・技能の達成率を80%以上にする。 ・日頃から自分の考えを発表する場面を設けたり、ノート等に解決方法や考え方を文章で書かせることで表現力を養っていく。また、応用問題を取り組む時間を毎単元3時間以上設け、知識の活用の仕方を指導し、「思考・判断・表現」の達成率を60%以上にする。
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の定期考査の結果から、「思考・判断・表現」の問題を80%以上解答できる生徒が全体の約6割である。特に「書くこと」に関して、①単語を正しく書くこと②言語の使用場面や言語の働きを理解することに課題があることと分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間帯活動で単語の発音練習を行い、単語の定着を図る。書きに関しては、小テストを行うだけでなく、重要語句は授業で使用する自作教材にも繰り返し提示し、何度も書かせることで定着を図る。 ・言語の使用場面や言語の働きに関しては、キーセンテンスだけでなく、イラストを添えたり、具体的な使用場面を映像で見せるなどして、どこで、どんなときに使用する表現なのかをイメージできるようにする。 ・「思考・判断・表現」の基礎問題を80%以上解答できる生徒を学年の8割に増やすことを目指す。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の定期考査の結果、「知識・技能」の達成率が52%、「思考・判断・表現」の達成率が54%であった。 ・授業アンケートでは「学習の粘り強さ」「学習の調整」で肯定的回答をした生徒が9割を超えている。一方、情報活用能力では肯定的回答が約4割であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期以降、学習内容が難しくなるので、小テストを各章1回以上実施し、基礎的知識の定着全生徒50%以上を目指す。 ・特に、少数点を含む計算など、小学校5年生程度の計算において目安時間の倍程度時間を要する生徒が9割であるため、課題・小テストを週1回行い、計算の速度向上を目指す。 ・タブレット端末を効果的に活用し、互いの考えを共有することで生徒の探究的な学びを深めるとともに、情報活用能力の肯定的回答8割を目指す。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の定期考査の結果、観点1「知識・技能」の問題の達成率が53%、観点2「思考・判断・表現」の問題の達成率が66%であった。 ・1学期の授業アンケートの結果、観点3「主体的に学習に取り組む態度」の項目では、「よくできた・できた」と回答した生徒が約92%となった。一方で「情報活用能力」の項目では、「あまりできなかった・できなかった」と回答したのが約52%であった。 ・学習内容を定着させることができなていないのが、課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに小テストを実施して知識の定着を図り、また、資料の読み取りに重点を置いた授業を展開することで、「知識・技能」の達成率を80%以上に向上させる。 ・学習活動にタブレットを活用した調べ学習を行い、「情報活用能力」を80%以上に向上させる。 ・単元ごとに小テストを行い、学習内容が定着するように授業改善を行う。